

「暁木地盤の会」第1回会合が開催される

標記の会の第一回の会合が、2007年8月31日（金）に、瀧川学術記念館に於いて開催されました。当会は、地盤系研究室の卒業生が最低年に一回は母校に集まり、地盤工学の最新の研究・技術を共に勉強するとともに、現役学生を含めた同窓生の交流を深めることを目的として設立されました。また、地盤系卒業者以外で、現在、地盤を対象とした仕事や研究をされており、地盤の不思議にご興味をお持ちの暁木会会員にも広くお声がけをしました。

当日は、大先輩の瀬川栄治先輩（9回生、旧4講座ご卒業）から現役学生まで80名近くの参加者がありました。第一部の勉強会では、沖村孝教授（自然科学系先端融合研究環 都市安全研究センター長）から「多面体の地盤工学」と題した1時間のご講演を賜りました。沖村先生ご自身の大学教育論、宗教観、人生哲学までも含んだ多岐に亘る内容で、参加者の多くが一瞬煙に巻かれたようでしたが、まさに新生市民工学の教育研究の根本理念に通じる高尚な内容でした。

階下の食堂に場所を移した第二部の懇親会では、瀬川先輩による乾杯の音頭の後、会場のあちこちで技術情報の交換や昔の思い出に花が咲き、現役学生の自己紹介に耳を傾ける人が全くいないほどの盛り上がり様でした。途中、田中泰雄教授から当会設立の趣旨のご説明があり、宴の終わりには、神戸市副市長の石井陽一先輩（18回生、旧4講座ご卒業）からのご挨拶と一本締めを頂戴しました。同時に、満場一致で沖村孝先生に当会の会長をお願いすること、また遠くない時期に第二回目の会合をご案内することを約束して、9時前に散会となりました。

このページをお借りして、多忙なところ趣旨をご理解頂いてご出席くださった多数の卒業生の皆様方に厚く御礼申し上げますとともに、今後とも引き続き多くの卒業生のご参加をお願い申し上げます。

文責：澁谷 啓（暁木地盤の会世話人）



沖村教授によるご講演



懇親会の様子